

③大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出支援事業 企画提案書（事業概要資料）

実施計画名	「福岡大学発“F Uスポまちコンソーシアム”の共働によるパラスポーツの普及・振興モデル」 ～大学スポーツ資源と地元プロチームホーム戦会場を活用したインクルーシブな教育・体験機会の創出～
事業概要	①福岡大学スポーツ・健康まちづくりコンソーシアム（略称：F Uスポまちコンソーシアム 設立2022年9月）によるパラスポーツ機会の拡大 自治体、産業界（経済同友会など）との連携や一般社団法人F Uスポーツコミュニティとの協力体制による事業展開と自走化 ②福岡市内における大学や地元プロチームが一体化したインクルーシブ教育とパラスポーツ普及機会の創出 F Uスポまちコンソーシアムの参画団体が連携し「スポーツで誰もが、ともに、つながり、はぐくむまちづくり」地域振興モデル事業を展開 ③福岡市、福岡市障がい者スポーツ協会、福岡市立障がい者スポーツセンター等との大学生アスリート人材の育成と活用 パラスポーツを支援する人材として大学生を活用しながら、障がい者のスポーツ参画人口の拡大や支援する人材教育・育成の機会と場の創出

■対象地域が抱える課題

対象地域	福岡市内
①パラスポーツを体験する機会の不足 ②インクルーシブな教育の機会や場を十分に確保できていない ③障がい者スポーツ団体だけでは、支える人材（ボランティア）や資金が乏しい ④パラスポーツに対する福岡市民の認知度が低い ⑤パラスポーツの体験機会を増やす組織体制づくりができていない ⑥公認パラスポーツ指導員資格取得者（初級・中級・上級）が少ない ⑦公認パラスポーツ指導員資格取得認定校（大学・短大・専門学校）が少ない（市内4校）	

■事業の実施体制図（学内体制に留まらず、地域の組織・団体との連携体制も示すこと）



■具体的なプログラム・活用する大学スポーツ資源

①コンソーシアム幹事会、ワーキンググループ（WG）の定期開催 期日：2024年8月、10月、12月 幹事会開催予定（WGは必要に応じて随時開催） 場所：福岡大学社会連携センター（ハリオスプラザ内） 対象：参画団体の幹事会・WG関係者・WGメンバー 資源：福岡大学スポーツ科学部教員、学生リーダー、事務局担当者、コンソーシアム参画団体	
②大学スポーツ資源を活用したインクルーシブ教育とパラスポーツ体験会の開催 期日：2024年12月1日 障がい者サッカー大会&パラスポーツ体験会 期日：2025年1月12日 障がい者バスケット大会&パラスポーツ体験会 場所：福岡大学サッカー場、総合体育館内専用コート 対象：幼児・小・中・高・大学生、社会人、シニア世代 約200名、障がい者大会参加者 約300名 資源：福岡大学指導者、運動部学生、専門科目カリキュラム履修学生、用具、コンソーシアム参画団体	
③地元プロチームとのコラボ企画（場所：プロチームホーム戦会場） 期日：2024年10月 【ライジングゼファー福岡】車いすバスケット&パラスポーツ体験会 期日：2024年11月 【アビスパ福岡】ブラインドサッカー&パラスポーツ体験会 期日：2024年12月 【キューデンヴォルテクス】ウィルチェアラグビー&パラスポーツ体験会 対象：福岡市民（年齢、性別、国籍、障がいの有無不問） 資源：福岡大学専門的指導者、学生、コンソーシアム参画団体	
④パラスポーツの活動支援、大学アスリート人材の育成と活用 期日：10月～12月 計4回 場所：福岡市立障がい者スポーツセンター内イベント会場 対象：福岡市内の障がい者 資源：福岡大学スポーツ科学部正課授業【アダブテッドスポーツ演習】履修学生（約200名） 教職課程履修学生、健康運動指導士資格取得学生、スポーツ科学部教員	

■期待される事業結果・効果

- ・パラスポーツ体験会参加者数の増加、市民の認知度拡大
 - ・スポーツを通じたインクルーシブ教育の機会や場の創出
 - ・多様な団体の連携による新しい地域スポーツ基盤の創出
 - ・大学スポーツ資源を活用したパラスポーツ振興モデルの横展開（国内外でのスポーツ関連学会等での発表・報告）
 - ・公認パラスポーツ指導員資格者（初級）の増加
 - ・公認パラスポーツ指導員資格取得認定校増加の機運醸成
- 【KPI値】
- イベント参加者 1,500人超 公認パラスポーツ指導員資格（初級）登録者 20名超
- 参加者アンケート調査（全く初めて参加 75%超、パラスポーツへの関心度が高まった 80%超／全参加者）
- 支援学生アンケート調査（興味・理解度向上 85%超）
- プロチームアンケート調査（次回開催希望 6団体／6団体）